



「健幸都市 山鹿」の実現をめざして ～いま知っておきたい メタボの健康リスクとがん対策～ 本日のまとめ



山鹿市民医療センター 病院事業管理者
別府 透



地域の皆様への情報発信

がんに関連した市民公開講座の積極的な開催-1

2017年1月

2017年10月

2018年11月

2019年12月

第1回 山鹿市民医療センター 「市民公開講座」

増えている大腸がん ～大腸がんを学びましょう！

大腸がんは増え続けており、消化器がんでは患者数ランキング1位です。しかし大腸がんの治療成績は著明に改善しています。生活習慣の改善による予防が重要です。早期発見を行えば、体に優しい内視鏡治療や腹腔鏡手術での完全治癒が期待されます。進行例でもついても薬物療法と手術療法の組み合わせ治療により、長期生存例を多数認めるようになりました。今回の講座では、大腸がんの予防、診断、治療について、皆様と一緒に学びたいと思います。

日時：平成29年 1月21日(土)
開場：9時30分 開演：10時 閉会：12時
場所：山鹿市民交流センター
文化ホール(市役所隣り)

参加費無料
参加の
事前申込み
不要

講演 講演会進行(山鹿市民医療センター副院長 別府 透)

- ①山鹿市の大腸がん検診の取組み
山鹿市保健所健康増進課 健康増進係長(保健師) 園田 洋子
- ②大腸がんの予防と生活習慣
山鹿市民医療センター 外科 蔵元 一崇
- ③進化する大腸がんの薬物治療
熊本大学医学部附属病院がんセンター 外来化学療法センター長 陶山 浩一
- ④大腸がんのチーム医療
山鹿市民医療センター がん化学療法看護認定看護師 木村 まり
- ⑤大腸がんの診断と内視鏡治療
山鹿市民医療センター 消化器内科部長 古閑 睦夫
- ⑥大腸がんの外科手術
～腹腔鏡手術を中心に
熊本大学医学部附属病院 消化器外科講師 坂本 快郎
- ⑦あきらめない進行大腸がんの治療
～肝転移例を中心に
山鹿市民医療センター 副院長 別府 透

講演会終了後、ロビーにおいて、演者への相談(質問)コーナーを設けます。

主催：山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
電話(代表)0968-44-2185 FAX:0968-44-2420
http://yamaga-medical-center.jp/

共催：山鹿市 後援：山鹿保健所、熊本医師会、山鹿市歯科医師会、山鹿地区薬剤師会

第2回 山鹿市民医療センター 「市民公開講座」

まだまだ多い胃がん ～胃がんを一緒に学びましょう！～

胃がんは現在でも増え続けており、消化器がんでは患者数ランキング2位です。一方、胃がんの診断法や治療法は進化しています。胃がんになりやすいとわかるようになり、早期発見を行えば、体に優しい内視鏡治療や腹腔鏡手術での治療が期待されます。進行例でもついても薬物療法と手術療法の組み合わせ治療により、長期生存例を認めるようになりました。今回の講座では、胃がんの予防、診断、治療について、皆様と一緒に学びたいと思います。

日時：平成29年 10月7日(土)
[開場]13時 [開演]13時30分 [閉会]15時30分(予定)
場所：山鹿市民交流センター
文化ホール(市役所隣り)

入場無料
事前の申込み
不要

講演 講演会進行(山鹿市民医療センター副院長 別府 透)

- ①山鹿市の胃がん検診の取組み
山鹿市保健所健康増進課 健康増進係長(保健師) 山崎 康代
- ②胃がんのピロリ菌感染・早期診断・内視鏡治療
山鹿市民医療センター 消化器内科部長 柚留木 考人
- ③胃がん化学療法の進歩と集学的治療
山鹿市民医療センター 外科部長 吉田 泰
- ④胃がんのチーム医療
がん化学療法看護認定看護師 竹田 由香里
- ⑤胃がんの手術～腹腔鏡手術を中心に
山鹿市民医療センター 外科部長 木下 浩一
- ⑥本日のまとめと質疑応答
山鹿市民医療センター 副院長 別府 透

講演会終了後、演者への相談(質問)コーナーをロビーに設けます。

主催：山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
電話(代表)0968-44-2185 FAX:0968-44-2420
http://yamaga-medical-center.jp/

共催：山鹿市 後援：熊本県山鹿保健所、熊本医師会、山鹿市歯科医師会、山鹿地区薬剤師会

第3回 山鹿市民医療センター「市民公開講座」

よく知ろう！ 乳がんのこと ～診断から治療まで～

我が国において、乳がんは女性のがんの中で最も多く、一生のうち11人に1人が乳がんを患うと言われています。しかしながら検診による早期がんの発見、薬物療法の進歩などにより、乳がん患者さんの予後は著明に改善傾向であり、正しく診断・治療を行えば根治が望める疾患です。本公開講座では、乳がんの予防、診断、治療などについてわかりやすく解説し、乳がんの理解を深めていきたいと思います。

平成30年
日時 11/10(土)
[開場]9時30分 [開演]10時 [閉会]12時(予定)
入場無料
場所 山鹿市民交流センター
文化ホール(市役所隣り)

進行：山鹿市民医療センター 副院長・外科 別府 透 外科部長 吉田 泰

- ①山鹿市の乳がん検診への取組み
山鹿市保健所健康増進課 健康増進係長(保健師) 西牟田さとみ
- ②乳がんの予防とチーム医療
山鹿市民医療センター プレストケアチーム 看護師 豊福 貴子
- ③乳がんの画像診断
山鹿市民医療センター 放射線科 医師 幸 秀明
- ④乳がんの診断と手術療法
熊本大学大学院生命科学研究部 乳癌・内分泌外科 助産(山鹿市民医療センター 乳癌外科 医師) 末田 愛子
- ⑤乳がんの薬物療法
熊本大学大学院生命科学研究部 乳癌・内分泌外科 教授 岩瀬 弘敬
- ⑥乳がん患者さん体験談
⑦質疑

開会後、ロビーにおいて、演者への相談(質問)コーナーを設けます。
お子様と一緒に視聴できる部屋を設けております。

主催：山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
電話(代表)0968-44-2185 FAX:0968-44-2420
http://yamaga-medical-center.jp/

共催：山鹿市 後援：熊本県山鹿保健所、熊本医師会、山鹿市歯科医師会、山鹿地区薬剤師会

山鹿市民医療センター 「第4回 市民公開講座」

「がん」を考える ～がんの予防、最新治療から緩和ケアまで～

日本人の2人に1人が、一生のうちには一度はがんになるというデータがあります。がんは、さまざまな要因によって発症しており、その中には予防できるものも多く含まれています。特に、肥満や糖尿病などの「生活習慣病」により、年齢とともにがんのリスクが高まることわかっていきます。がんに対する治療法は急速に進化しています。早期がんのみならず進行がんの一部にも治療が望める時代になりました。同時にがん患者さんのこころのケアも重要な課題です。本公開講座では、がんの予防、診断、治療、緩和ケア、などについてわかりやすく解説し、がんについての理解を深めていきたいと思います。

日時：令和元年 12月7日(土)
[開場]9時30分 [開演]10時 [閉会]12時
入場無料
場所：山鹿市民交流センター
文化ホール(市役所隣り)

入場無料
事前の申込み
不要

主催者挨拶：山鹿市病院事業管理者 豊永 政和 開設者挨拶：山鹿市長 中嶋 憲正

- | 講演 ～質疑応答 | | 進行：山鹿市民医療センター 総務 別府 透 | |
|---|--|--------------------------------------|------------------------------------|
| ①がんの予防と生活習慣病
山鹿市民医療センター 代謝内科部長 川崎 修二 | ③がん患者さんのこころのケア・緩和ケア
山鹿市民医療センター 外科部長 佐藤 伸隆 | ②がんの最新治療
山鹿市民医療センター 消化器内科部長 千代永 卓 | ④本日のまとめと質疑応答
山鹿市民医療センター 院長 別府 透 |
| ④がんのチーム医療
熊本大学病院 外来化学療法センター長 陶山 浩一 | ⑤がんの薬物療法
山鹿市民医療センター がん科部長 赤星 慎一 | ※講演会終了後、相談(質問)コーナーをロビーに設けます。 | |

主催：山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
電話(代表)0968-44-2185 FAX:0968-44-2420
http://yamaga-medical-center.jp/

共催：山鹿市 後援：熊本県山鹿保健所、熊本医師会、山鹿市歯科医師会、山鹿地区薬剤師会

地域住民の生命と健康への貢献

山鹿市民医療センター



地域の皆様への情報発信

がんに関連した市民公開講座の積極的な開催-2

2023年9月

2024年10月

2025年9月

2026年10月

山鹿市民医療センター
『第5回 市民公開講座』

山鹿でできる 肝がんの予防と治療

肝がんは進行するまで症状がでないことが多く、年間約30,000人が亡くなっています。鹿本医療圏においても、従来多かったウイルス性肝炎に加えて、糖尿病、脂肪性肝炎などの生活習慣病（メタボ）に関連した肝がんが増えています。これらの原因疾患の早期診断と治療が肝がんの減少につながります。たとえ肝がんと診断されても、山鹿市民医療センターでほとんどの患者さんの治療が完了できる体制が整ってきました。今回の市民公開講座では、肝がんの予防・早期診断・治療・緩和ケアについて理解を深めていただきたいと思います。

【日時】令和5年9月9日
【開場】13時30分 【開演】14時 【閉会】16時(予定)
【会場】山鹿市民交流センター 文化ホール

入場無料
事前の申込不要

ご挨拶：山鹿市長 早田 順一 鹿本医師会会長 幸村 克典

講演 進行：山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏

- 肝がんの予防
① みんなが受けられる肝がん検診
山鹿市民医療センター 地域健康課 保原 鹿子木 光葉
② ウイルス性肝炎関連肝がんの予防
大阪公立大学大学院 肝臓病外科 久保 正二
③ メタボ関連肝がんの予防
山鹿市民医療センター 消化器内科 本原 利彦
- 肝がんの治療
① 当センターで完結できる肝がん治療
山鹿市民医療センター 事業推進部 外科 別府 透
- 肝がんの緩和ケア
② 肝がんの緩和ケア
山鹿市民医療センター 外科 宮本 英明
③ 肝がん患者さんの緩和ケアとこころのケア
山鹿市民医療センター 外科 織田 枝里
- 本日のまとめと質疑応答
講演会終了後、相談（質問）コーナーをロビーに設けます

山鹿市民医療センター
『第7回 市民公開講座』

山鹿でできる 胆道がん・膵がんの診断と治療

【日時】令和6年10月5日
【開場】13:30 【開演】14:00 【閉会】16:00(予定) ※健康チェック・相談（質問）コーナーは16:30終了予定
【会場】山鹿市民交流センター 文化ホール

入場無料
事前の申込不要

ご挨拶：山鹿市長 早田 順一 鹿本医師会会長 幸村 克典

講演 進行：山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏

- がん総合診療チームの紹介
① 健康診断とがん
山鹿市民医療センター 地域健康課 高木 茂
② がん相談支援センター
山鹿市民医療センター がん相談支援センター 福島 大志
③ 積極的ながんリハビリ
山鹿市民医療センター 緩和ケア病棟 上野 高弘
- 胆道がん・膵がんを知る
① 胆道がん・膵がんを知る
山鹿市民医療センター 消化器内科 石河 隆敏
② 胆道がん・膵がんの診断と治療
山鹿市民医療センター 消化器内科 本原 利彦
- 最新の治療法
④ 最新の薬物療法
山鹿市民医療センター 消化器内科 増田 稔郎
⑤ 最新の手術療法
山鹿市民医療センター 消化器外科 宮本 英明
- 肝臓がん・膵臓がんの緩和ケア
⑥ 肝臓がん・膵臓がんの緩和ケア
山鹿市民医療センター 緩和ケア病棟 江藤 千鶴

挨拶（まとめ）：病院事務推進部 別府 透

健康チェック・相談（質問）コーナー
※16:30終了予定

山鹿市民医療センター『第8回 市民公開講座』

泌尿器がんを知ろう！ ～腎臓・膀胱・前立腺がんの診断と治療～

【日時】令和7年9月27日
【開場】13:30 【開演】14:00 【閉会】16:00(予定) ※健康チェック・相談（質問）コーナーは16:30終了予定
【会場】山鹿市民交流センター 文化ホール

入場無料 事前の申込不要

ご挨拶：山鹿市長 早田 順一 鹿本医師会会長 幸村 克典

講演 進行：山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏

- がん総合診療チームの紹介
① がん検診
山鹿市民医療センター 地域健康課 高山 真紀
② がん治療と栄養
山鹿市民医療センター 消化器内科 永田 美華
③ がん相談支援センター
山鹿市民医療センター がん相談支援センター 豊橋 貴子
- 泌尿器がんを知る
① 泌尿器がんを知る
山鹿市民医療センター 泌尿器科 中村 圭輔
② 前立腺がんの診断と治療
山鹿市民医療センター 泌尿器科 今藤 淳之助
- 健康チェック・相談（質問）コーナー
※16:30終了予定

挨拶（まとめ）：病院事務推進部 別府 透

山鹿市民医療センター『第9回 市民公開講座』

「健幸都市 山鹿」 の実現をめざして

～いま知っておきたい メタボの健康リスクとがん対策～

【日時】令和8年10月3日
【開場】13:30 【開演】14:00 【閉会】16:00(予定) ※健康チェック・相談（質問）コーナーは16:30終了予定
【会場】山鹿市民交流センター 文化ホール

入場無料
事前の申込不要

ご挨拶：山鹿市長 早田 順一 鹿本医師会会長 橋本 尚子

講演 進行：山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏 鹿本医師会会長 橋本 尚子

- メタボとがんについて知る
① 「あなたは大丈夫？」
メタボについて知る
山鹿市民医療センター 地域健康課 橋田 早苗
② 食事で防ぐメタボとがん
～今日からできる健康習慣～
山鹿市民医療センター 地域健康課 平山 育実
③ 「メタボとがん」
がんを予防するためにできること
山鹿市民医療センター 消化器内科 西田 周平
- メタボに関連した消化器がんの診療
① 内臓がんを中心に
山鹿市民医療センター 消化器内科 本原 利彦
② 外科治療について
山鹿市民医療センター 消化器外科 増田 稔郎
- 健康チェック・相談（質問）コーナー
※16:30終了予定

挨拶（まとめ）：病院事務推進部 別府 透

主催：山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
電話(代表)0968-44-2185 FAX:0968-44-2420
http://yamaga-medical-center.jp/

共催：山鹿市
後援：熊本県山鹿保健所、鹿本医師会、
山鹿市徳科医師会、山鹿地区医師会

主催：山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 電話(代表)0968-44-2185 FAX:0968-44-2420
共催：山鹿市 後援：熊本県山鹿保健所、鹿本医師会、山鹿市徳科医師会、山鹿地区医師会
http://yamaga-medical-center.jp/

主催：山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 電話(代表)0968-44-2185 FAX:0968-44-2420
共催：山鹿市 後援：熊本県山鹿保健所、鹿本医師会、山鹿市徳科医師会、山鹿地区医師会
http://yamaga-medical-center.jp/

主催：山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 電話(代表)0968-44-2185 FAX:0968-44-2420
http://yamaga-medical-center.jp/

共催：山鹿市 後援：熊本県山鹿保健所、鹿本医師会、山鹿市徳科医師会、山鹿地区医師会
協力：熊本県看護学校、早稲田生命保険相互会



地域住民の生命と健康への貢献

山鹿市民医療センター



「あなたは大丈夫？」

メタボについて知ろう!!

山鹿市民医療センター
地域健診室 保健師 稗田早苗



メタボリックシンドロームとは？



この3つのリスクが重なると
血管が傷つきやすくなる





血圧が高めの人へ

今日からできる3つの工夫

脂質が高めの人へ

今日からできる3つの工夫

血糖値が高めの人へ

今日からできる3つの工夫



あなたが変えたい、
変えられそうな生活習慣は？

今日の「ひとつ」が
あなたの健康を育てます ✨

★ 実践できること

★ 継続できること

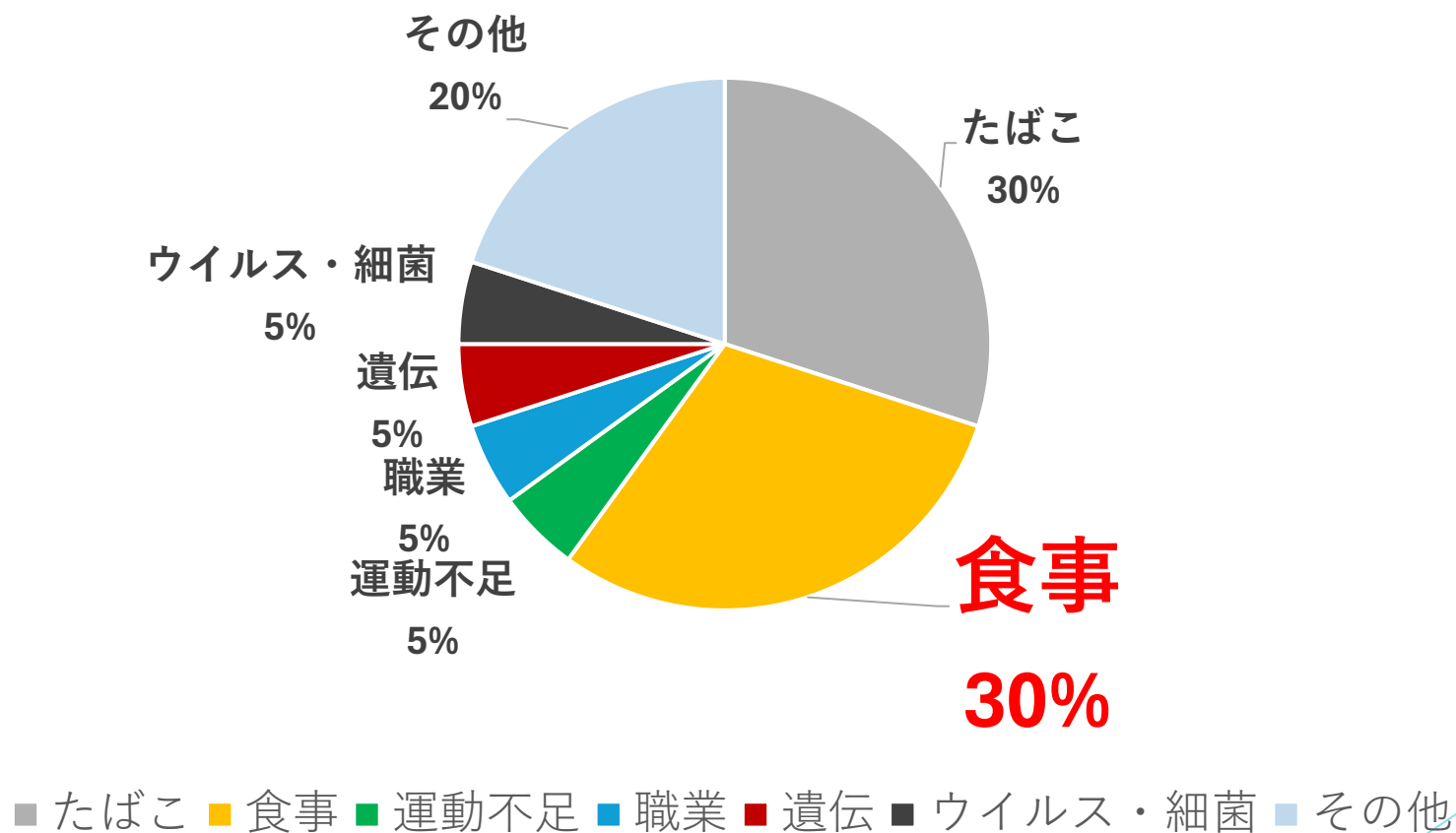


食事で防ぐメタボとがん ～今日からできる健康習慣～

山鹿市民医療センター 管理栄養士 平山 育実

食事がメタボとがんに与える影響

がんの要因

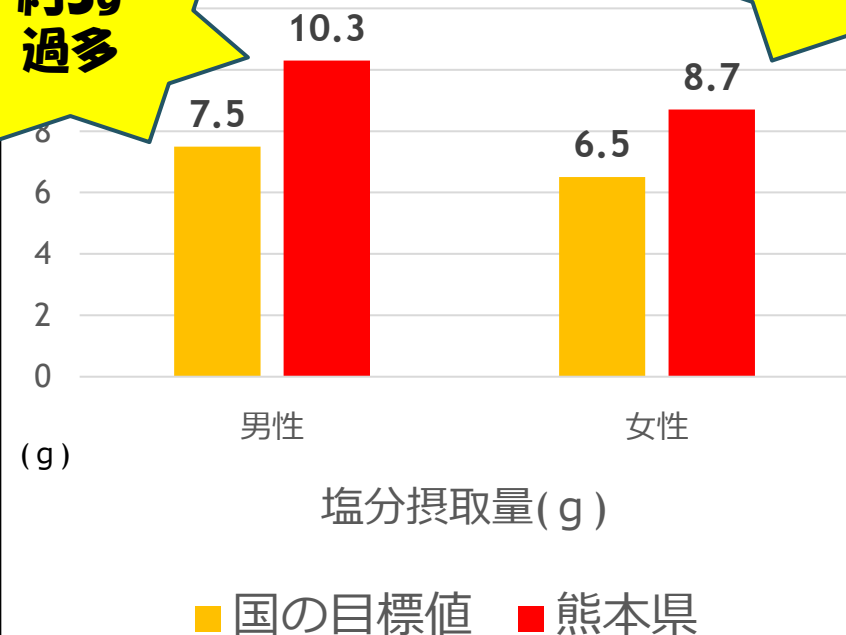


熊本県における塩分摂取量と野菜摂取量

熊本県の塩分摂取量

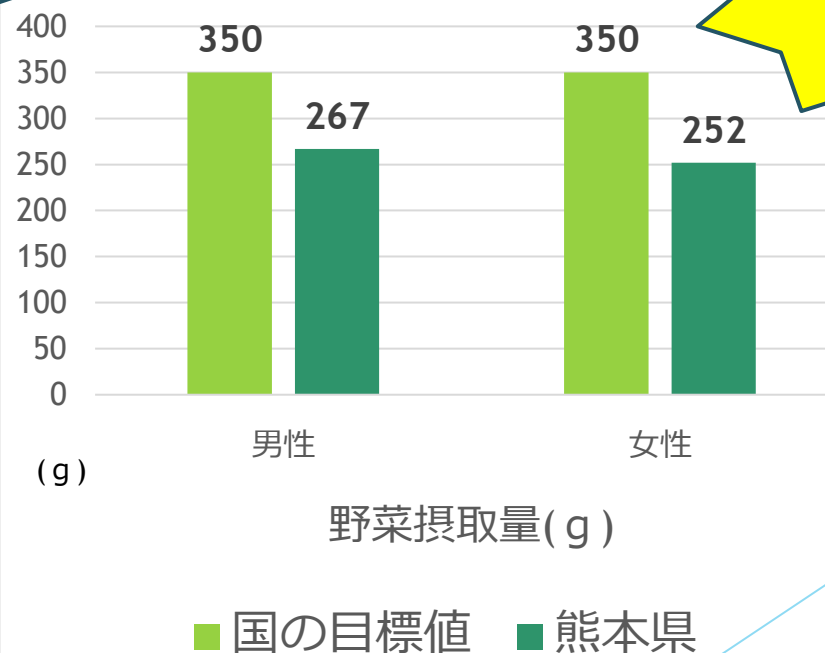
約3g
過多

約2g
過多



熊本県の野菜摂取量

約100g
不足



まとめ

- ① 主食・主菜・副菜を揃えて**バランスよく食べる**
- ② **野菜をしっかり食べる**
- ③ 朝食を食べて生活リズムを整える
- ④ 甘い飲み物・菓子類・加工肉は控えめにする
- ⑤ **塩分とお酒はほどほどにする**



メタボとがん

-がんを予防するためにできること-

山鹿市民医療センター 内分泌・代謝内科

西田 周平

メタボによるリスク

2倍

心血管疾患の発症リスク

延べ約95万人を対象とした87件の縦断研究のシステマティックレビューによると、メタボリックシンドローム患者は対照群と比較して、**心血管疾患の発症リスクが約2倍**に増加することが示されています。

さらに、全死亡率も約1.5倍に増加することが確認されています。

都道府県の平均BMI

熊本県は上から数えた方が早い。

1. BMI の平均値

男性(20～69歳)

都道府県	人数	平均値 (kg/m ²)*	
高知県	25	24.9	
岩手県	78	24.9	
徳島県	118	24.9	
熊本県	70	24.8	
沖縄県	112	24.8	
広島県	48	24.8	
秋田県	58	24.8	
宮崎県	74	24.8	
山形県	83	24.8	
和歌山県	41	24.7	
千葉県	74	24.7	
長崎県	91	24.6	
大分県	121	24.5	
青森県	82	24.5	
香川県	81	24.4	
奈良県	79	24.4	
群馬県	134	24.2	
埼玉県	105	24.1	
山梨県	126	24.1	
茨城県	77	24.1	

女性(40～69歳)

都道府県	人数	平均値 (kg/m ²)*	
長崎県	78	24.1	
福島県	58	23.6	
宮崎県	81	23.5	
沖縄県	100	23.3	
佐賀県	53	23.2	
秋田県	60	23.2	
鹿児島県	50	23.2	
熊本県	80	23.1	
岩手県	70	23.0	
埼玉県	77	23.0	
愛媛県	42	23.0	
群馬県	102	22.9	
新潟県	77	22.9	
和歌山県	51	22.9	
茨城県	69	22.7	
東京都	29	22.7	
山形県	86	22.6	
栃木県	124	22.6	
岡山県	81	22.6	
山梨県	119	22.6	

$$\text{BMI} = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)}^2$$

判定基準 (日本肥満学会)

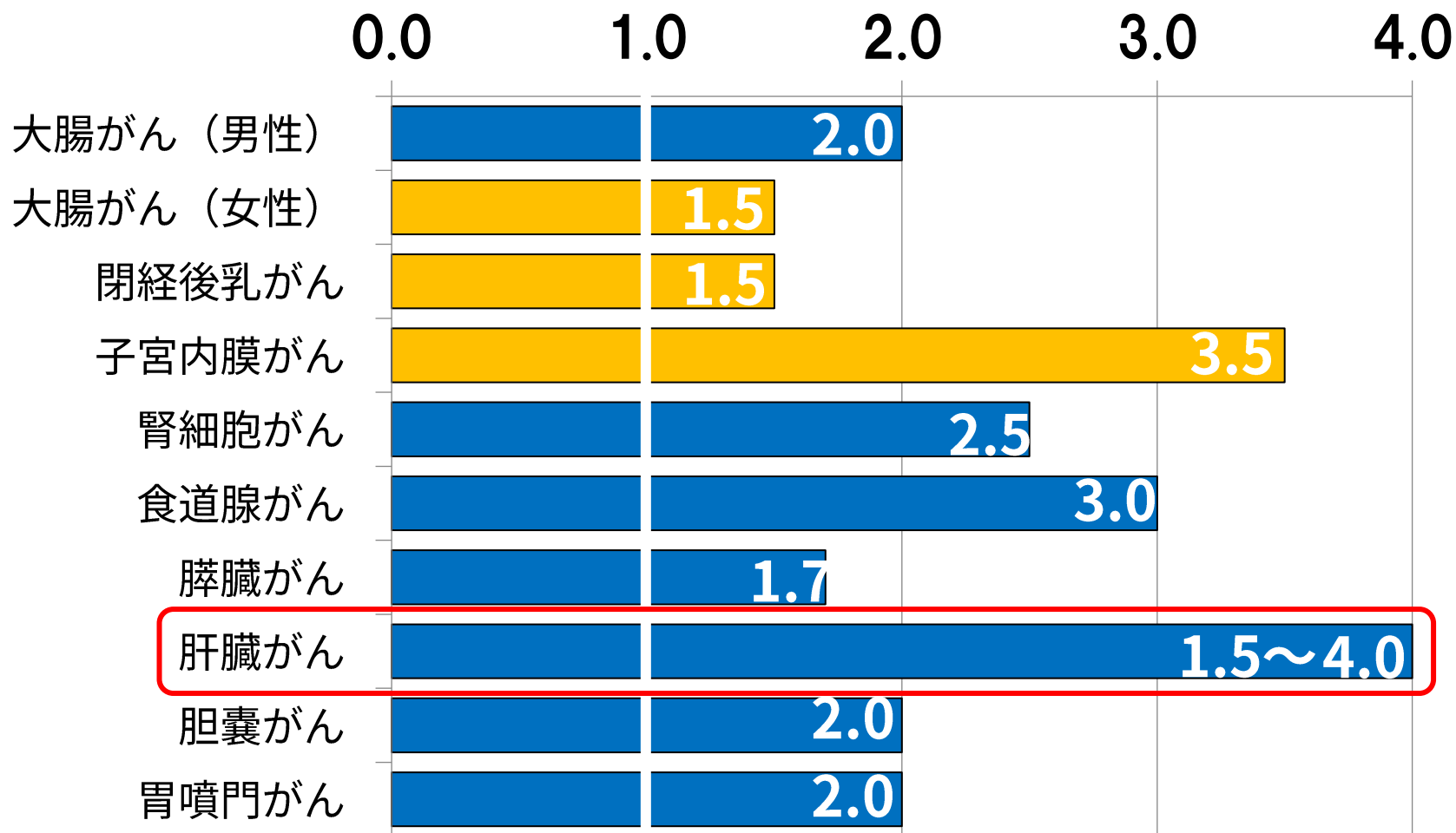
18.5未満：低体重 (痩せ)

18.5～25未満：普通体重
(最も病気になりにくい標準)

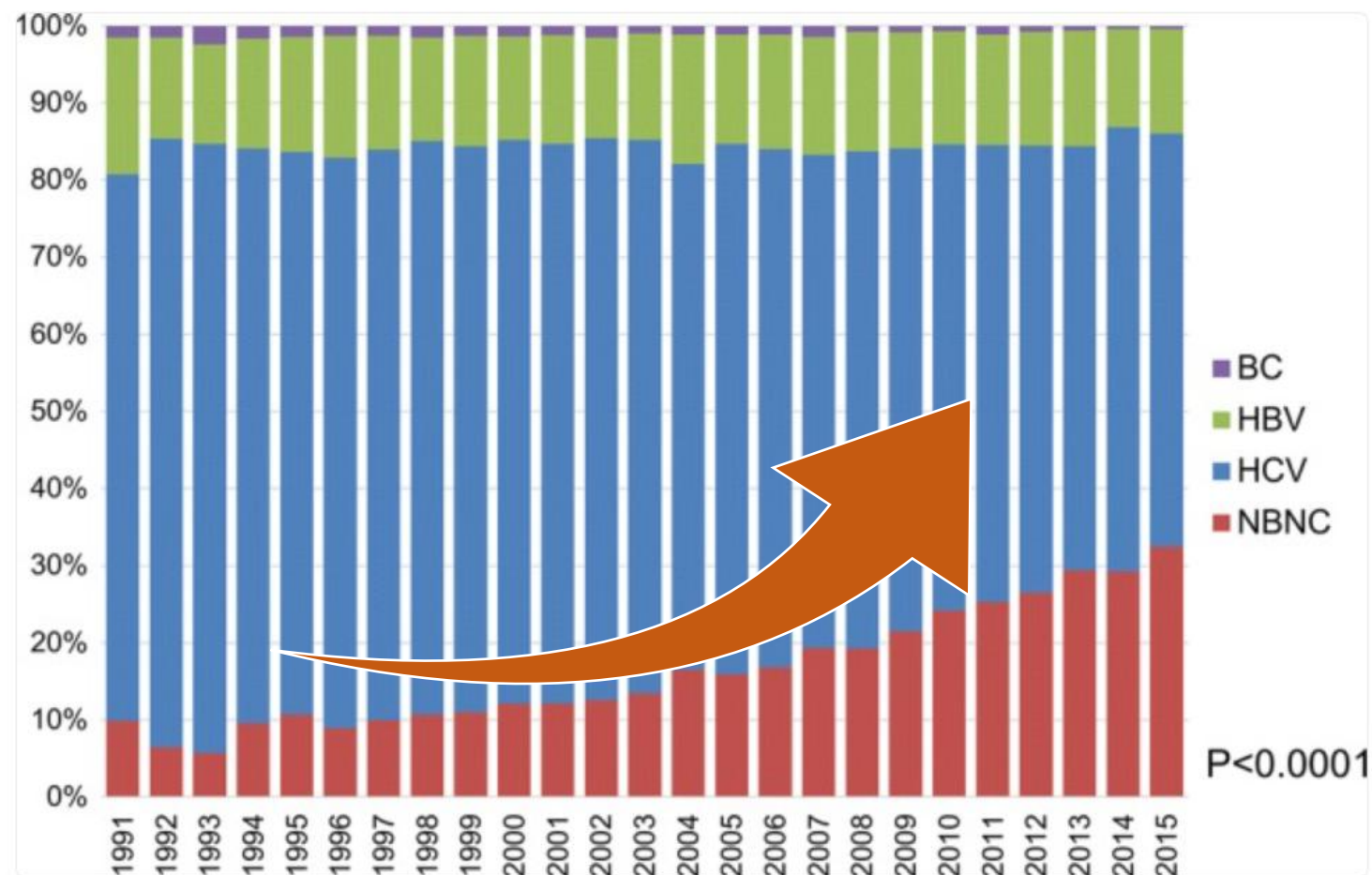
25～30未満：肥満 (1度)

30以上：肥満 (2度以上)

肥満と関連するがん（BMI>30 kg/m²での相対リスク）



日本人における肝がんの原因



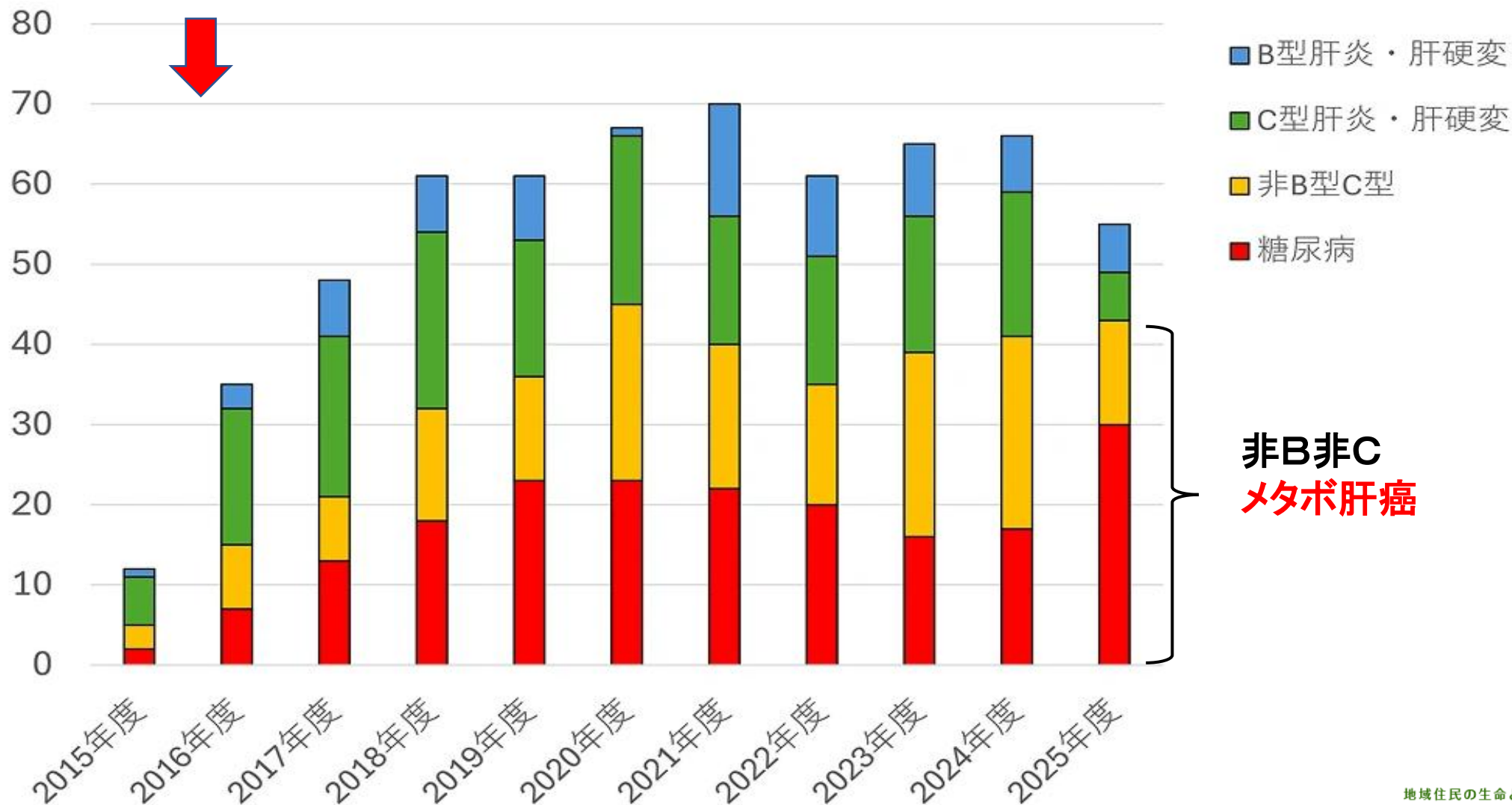
ウイルスが原因ではない肝がんが増加。



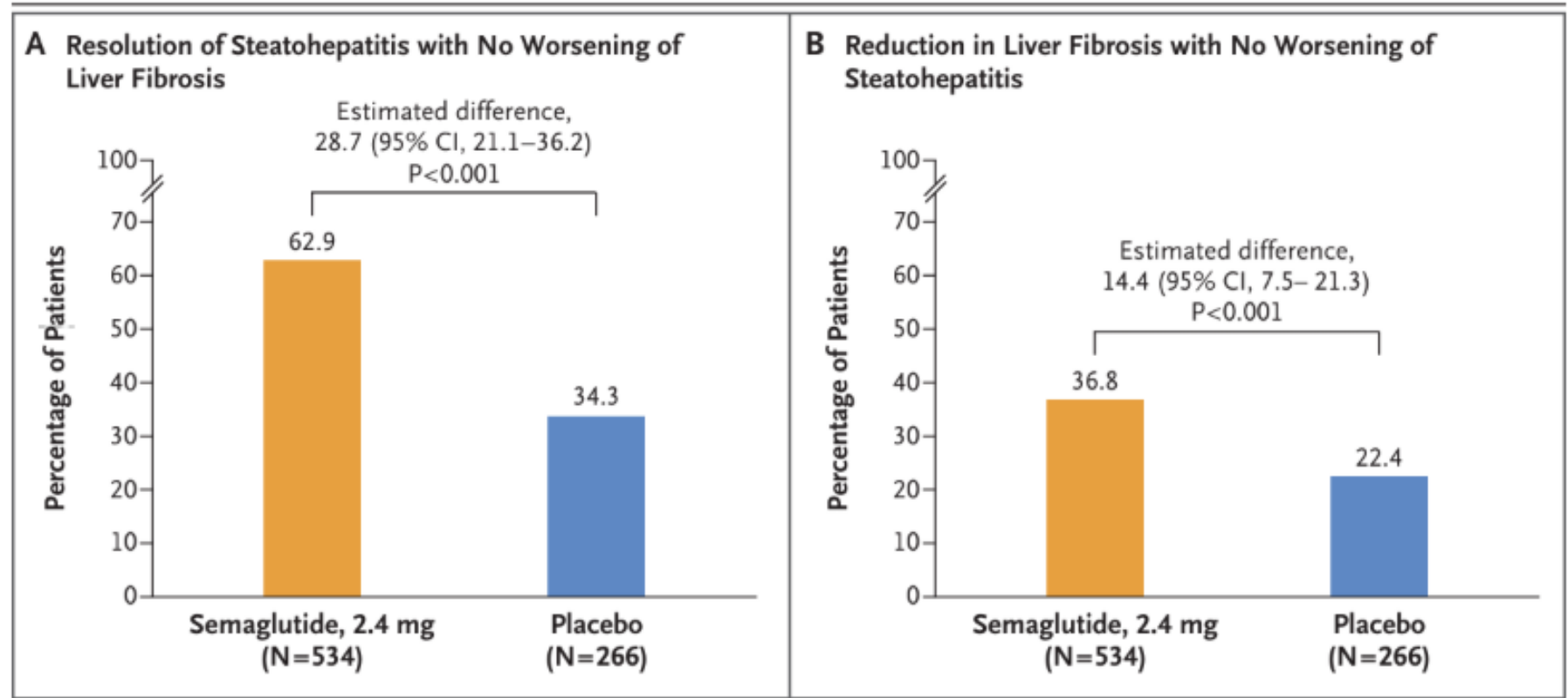
肝細胞がん治療患者数と背景肝の推移

2015年4月～2026年3月

肝がん治療専門医着任



日本で初の脂肪肝炎（MASH）治療薬：セマグルチド



炎症を改善

線維化を改善

単なる「体重減少」ではなく、肝臓の根本的なダメージ（炎症と線維化）を直接改善することが証明されました。

NotebookLM

がんリスクを下げるにはどの程度の減量が必要か？



10%の減量

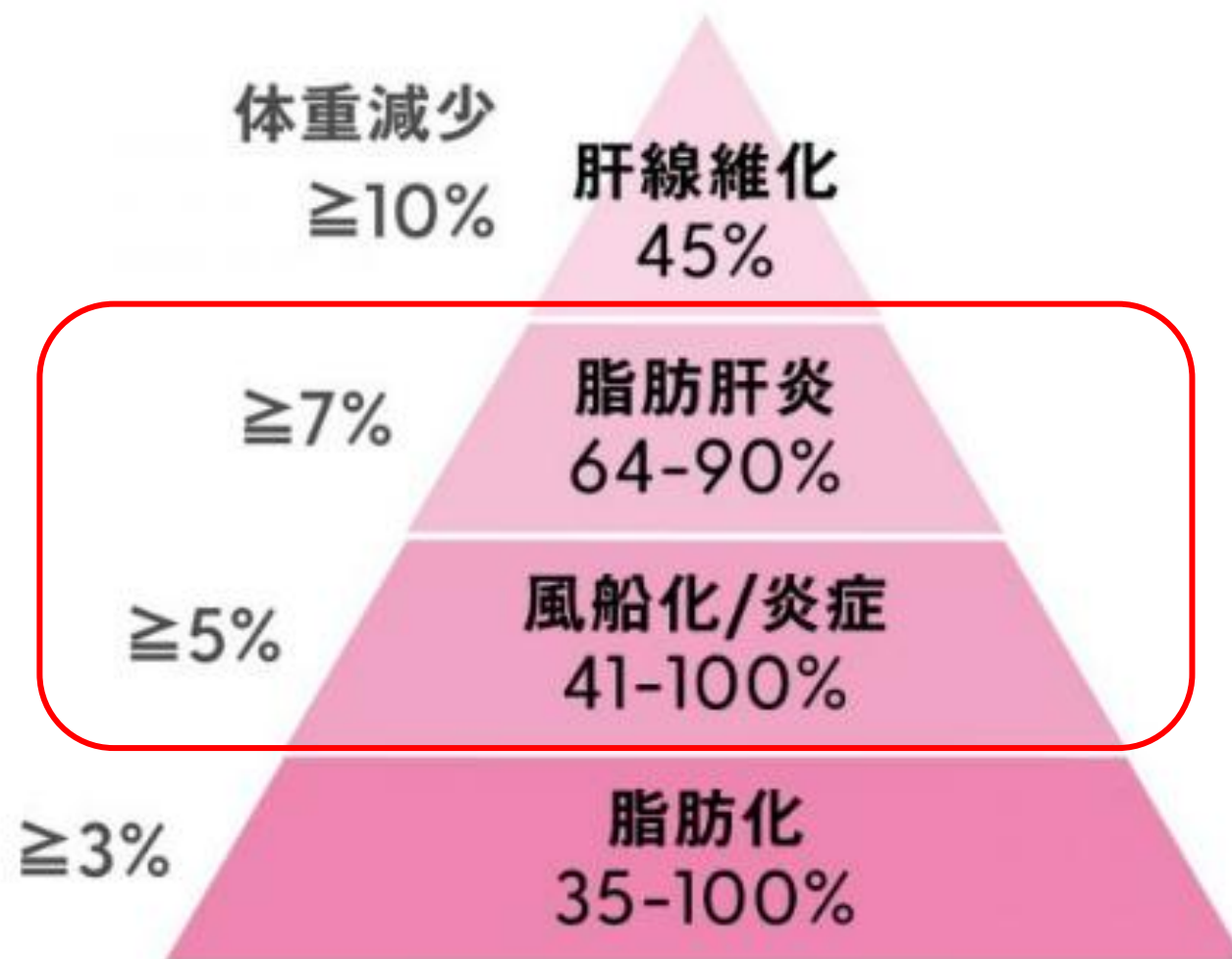


**がんリスク
0.02-0.5%低下**

観察研究では、減量手術またはGLP-1受容体作動薬によって体重の減量した患者では、肥満関連がんの発生率が減少しました。



脂肪肝炎（MASH）を改善させるにはどの程度の減量が必要か？



出典／Gomez V, et al. Gastroenterology, 2005、Promrat K, et al. Hepatology, 2010、Harrison SA, Hepatology, 2009、Wong, J Hepatol, 2013、国立研究開発法

血糖や血圧を改善させるにはどの程度の減量が必要か？

👤 対象と方法

肥満症またはメタボリックシンドロームの日本人男女3,480名に対し、6ヶ月間の生活習慣改善プログラムを実施。体重減少率と11の肥満関連パラメーター（血圧・脂質・血糖など）の変化を解析。

📊 体重減少率と検査値の改善

1～3%未満

脂質・肝機能など7項目が有意に改善
(TG, LDL-C, HbA1c, AST, ALT, γ-GTP, HDL-C)

3%以上

血圧・血糖・尿酸が加わり全11項目が有意に改善
(上記＋収縮期血圧, 拡張期血圧, 空腹時血糖, 尿酸)

3%

(3～6カ月で)

肥満関連の健康障害を
改善するために必要な
減量目標

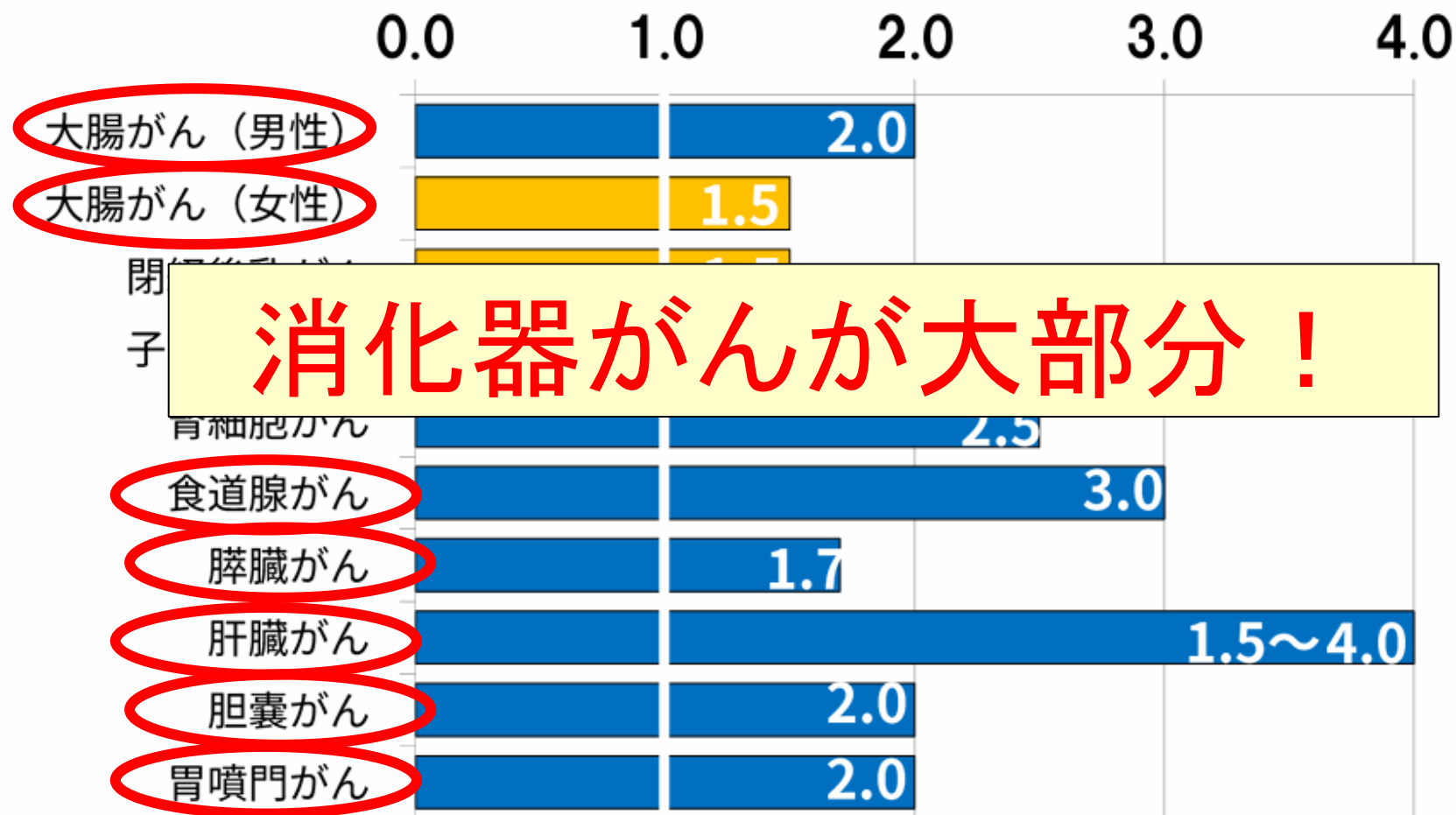
「健幸都市 山鹿」 の現実をめざして

II. メタボに関連した消化器癌の診療

① 内視鏡治療を中心に

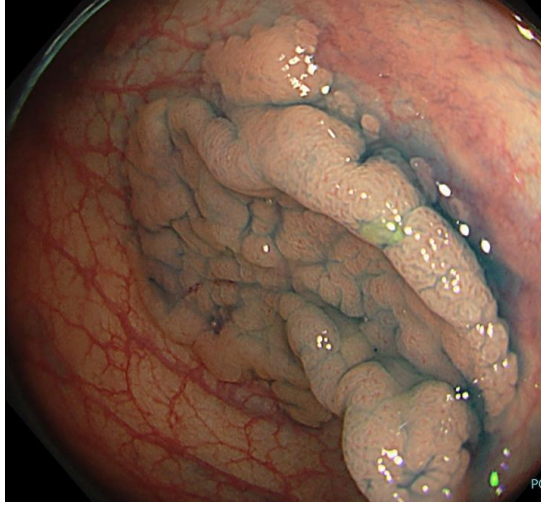
山鹿市民医療センター
消化器内科 本原 利彦

肥満と関連するがん（BMI>30 kg/m²での相対リスク）



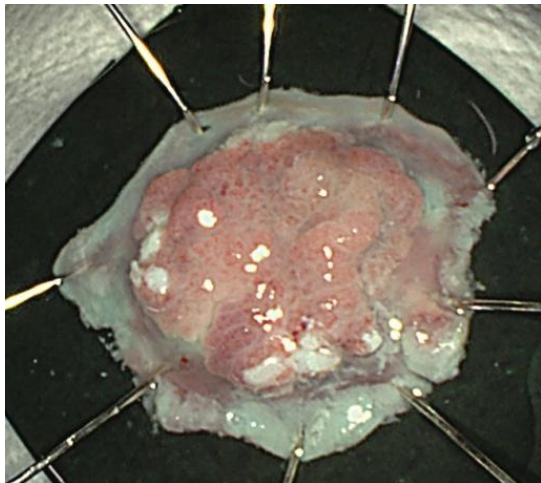
大腸がんの内視鏡治療の特徴

内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD：endoscopic submucosal dissection）



メリット

- 早期がんでは根治が望める。
- 病巣だけ切り取る為、臓器の機能や形態が温存できる。
- 体表に傷がつかないため痛みがほとんどない。
- 身体への負担は外科的手術よりは侵襲がすくない。



デメリット・リスク

- 早期がんが適応であり、進行がんには適応がない。
- 高度の技術を要し、術中の穿孔や術後出血のリスク、病変の大きさと部位により長時間の治療になる。



2026年10月3日

第9回市民公開講座

健幸都市 山鹿の実現を目指して-いま知っておきたいメタボの健康リスクとがん対策

II-② メタボと関連した消化器癌の診療

外科治療について

山鹿市民医療センター
外 科

増田稔郎



がんの発見のため、どの検査が必要？

- 腹部エコーやCT・レントゲンなどの画像検査
- 胃内視鏡またはバリウム検査、大腸内視鏡または便潜血検査
- 採血ももちろん重要

適切な検査を、適切な間隔で！
まずは、かかりつけ医にご相談ください。

50歳以上で一度も受けたことがない人は、早めに検査を。



山鹿市民医療センターでは 健康診断・人間ドックが受けられます！



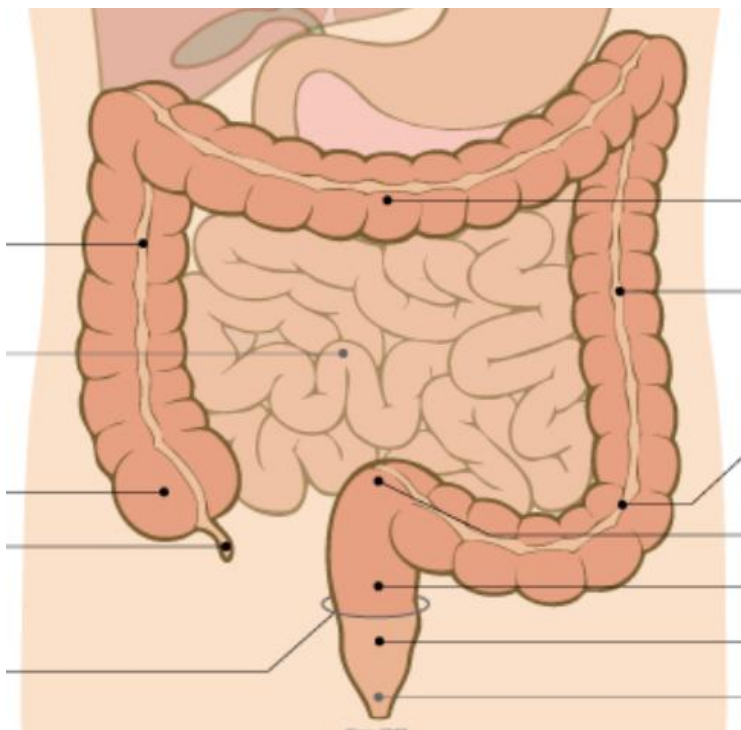
腹部エコーや肺CT、胃内視鏡、大腸内視鏡はオプションです。
すべてを毎年受ける必要はありません。

自分の身は自分で守る意識を！



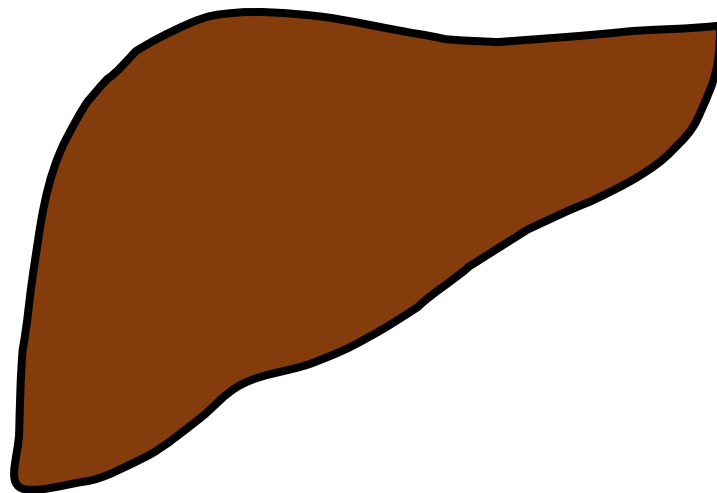
メタボと関連する主な消化器がん

大腸癌

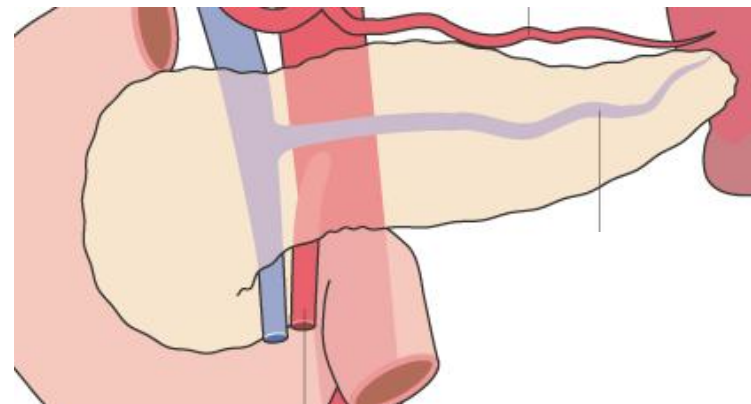


国立がんセンターがん情報サービスより一部改編

肝臓癌



膵臓癌





山鹿市民医療センターで可能な肝がん治療 2026

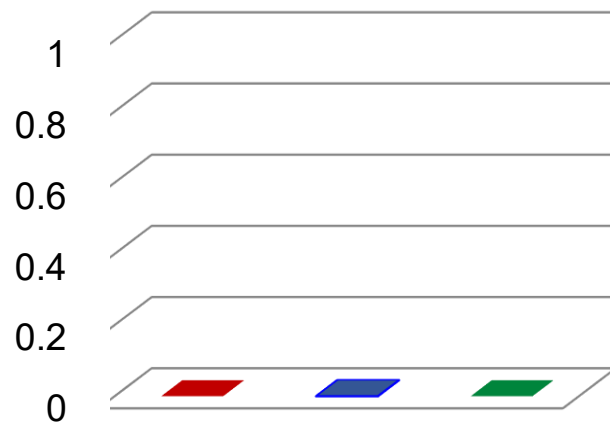
- 肝切除（腹腔鏡含む）
- 局所焼灼療法（ラジオ波、マイクロ波）
- 肝動脈化学塞栓療法（TACE）
- 肝動注化学療法（HAIC）
- 全身薬物療法
- 緩和ケア
- 背景肝の治療

一貫した方針で、各種治療をベストの組み合わせで行う



山鹿市民医療センターでの 肝がん治療数の年次別推移 (n=755)

～2016年3月

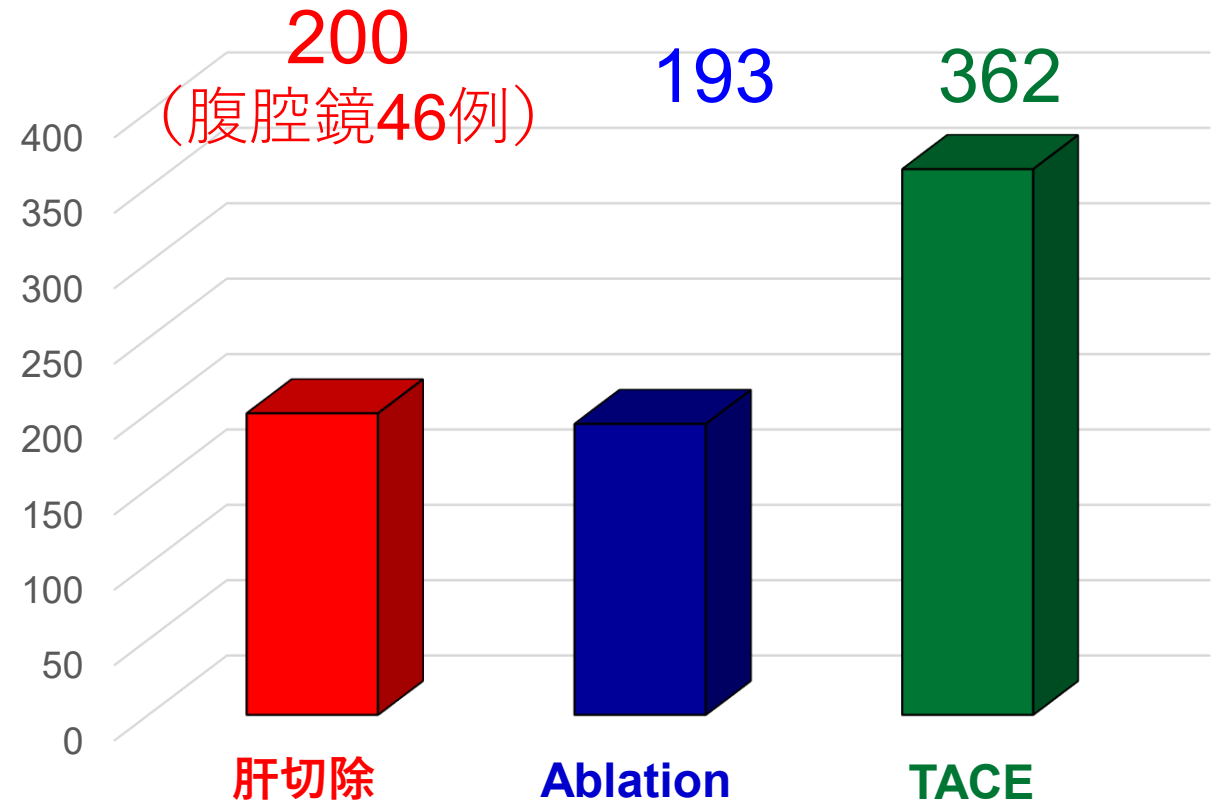


肝切除 Ablation TACE

Ablation: マイクロ波、ラジオ波焼灼療法
TACE: 肝動脈化学塞栓療法

肝がん: 肝細胞癌以外も含む

2016年4月～2026年3月





山鹿市民医療センター 外科チーム 6名に増員されました！



お気軽にご相談ください！

2026年10月3日（土）山鹿市民医療センター

第 9 回 市 民 公 開 講 座

そこが知りたい！

糖尿病患者さんのがんと がん患者さんの糖尿病

国立がん研究センター中央病院
総合内科（糖尿病腫瘍科）
大 橋 健

糖尿病患者さんが亡くなる原因 第1位は？

① 糖尿病の合併症(腎不全・心筋梗塞・脳卒中)

② が ん 39%

③ 感染症

早期発見のために「がん検診」を

「がん検診」の種類	対象者	実施間隔	検査方法
胃	50歳以上の男女	2年に1回	問診および胃部X線または胃内視鏡検査のいずれか
子宮	20歳以上の女性	2年に1回	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診
肺	40歳以上の男女	年1回	問診、胸部X線検査及び喀痰細胞診
乳腺	40歳以上の女性	2年に1回	問診及び乳房X線検査(マンモグラフィ) ※視診、触診は推奨しない
大腸	40歳以上の男女	年1回	問診及び便潜血検査

すい臓がんの危険因子

膵がんの家族歴

1.5～1.7倍



慢性すい炎

13.3～16.2倍



糖尿病

1.7～1.9倍



肥満

1.3～1.4倍



飲酒

1.1～1.3倍



喫煙

1.7～1.8倍



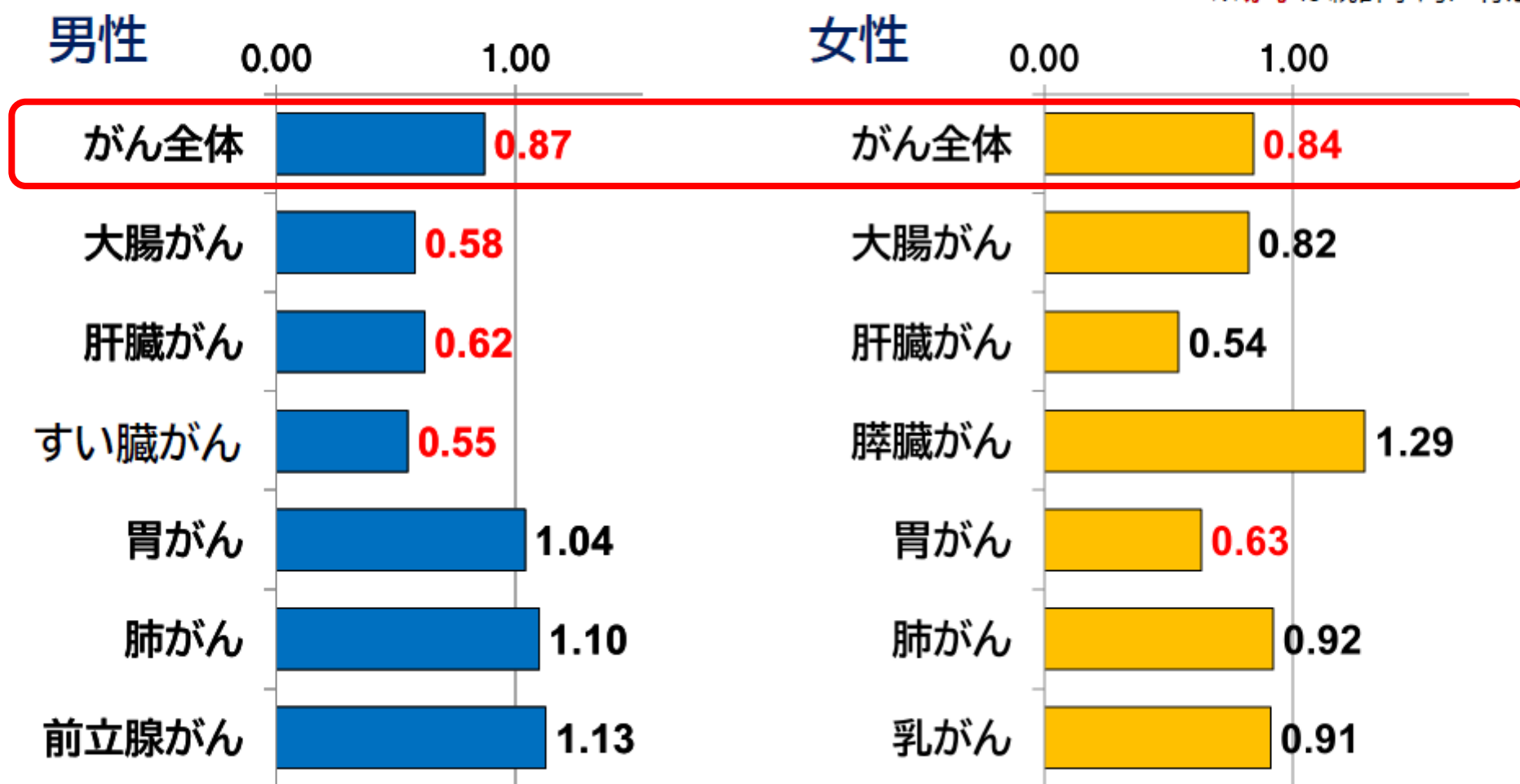
『膵癌診療ガイドライン 2025』より

2つの病気に効く健康的な生活

糖尿病患者における
食事・運動療法・禁煙・節酒は
がんリスク減少に
つながる可能性がある

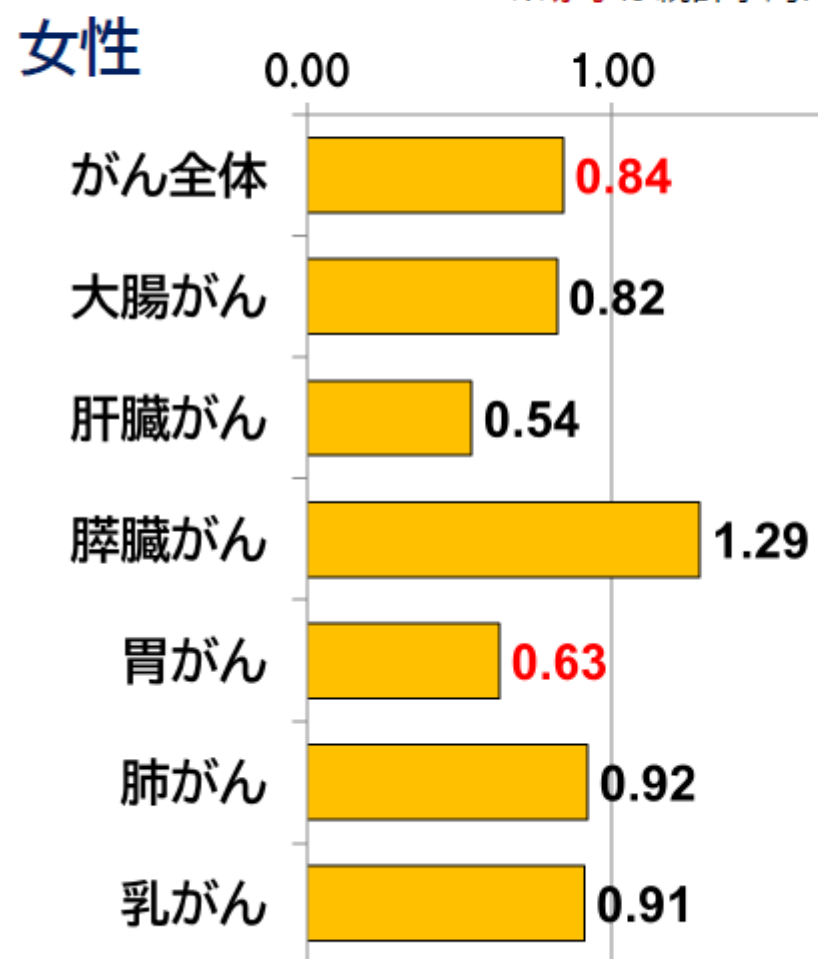
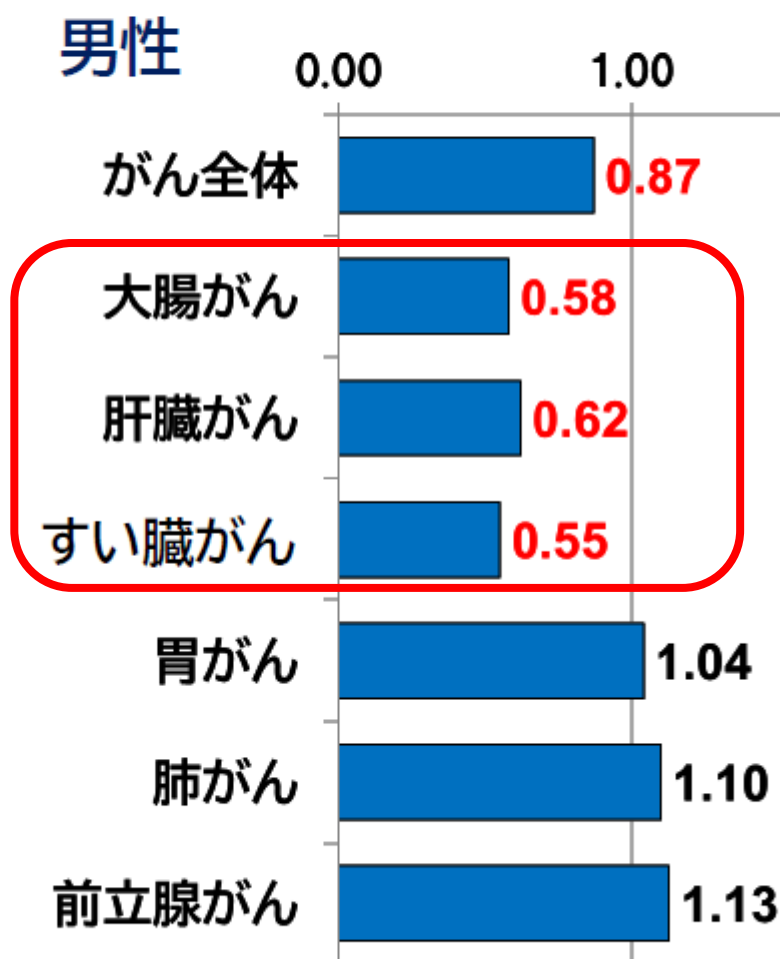
運動とがんのリスク よく運動する人 vs ほとんどしない人

※赤字は統計学的に有意



運動とがんのリスク よく運動する人 vs ほとんどしない人

※赤字は統計学的に有意



糖尿病患者さんのがん、がん患者さんの糖尿病

- 糖尿病患者さんの死因1位はがん
- 糖尿病はすい臓がん・肝臓がん・大腸がんなどと関連
- こんなときはすい臓がんが隠れているかも！
 - ① 糖尿病治療中の心当たりのない血糖コントロール悪化
 - ② はじめて糖尿病と診断されたとき（高齢・急な発症・体重減少）
- がん治療中は糖尿病の管理も大切

健康的な生活習慣は一石二鳥！



本日の講演

I. メタボとがんにチームで取り組む

①「あなたは大丈夫？」

メタボについて知ろう！！

地域健診室 保健師 稗田 早苗

② 食事で防ぐメタボとがん

～今日からできる健康習慣～

栄養管理室 管理栄養士 平山 育実

③「メタボとがん」

ーがんを予防するためにできること

代謝内科 科長 西田 周平

II. メタボに関連した消化器癌の診療

① 内視鏡治療を中心に

消化器内科 科長 本原 利彦

② 外科治療について

消化器外科 科長 増田 稔郎

III. そこが知りたい！

「糖尿病患者さんのがん」と「がん患者さんの糖尿病」

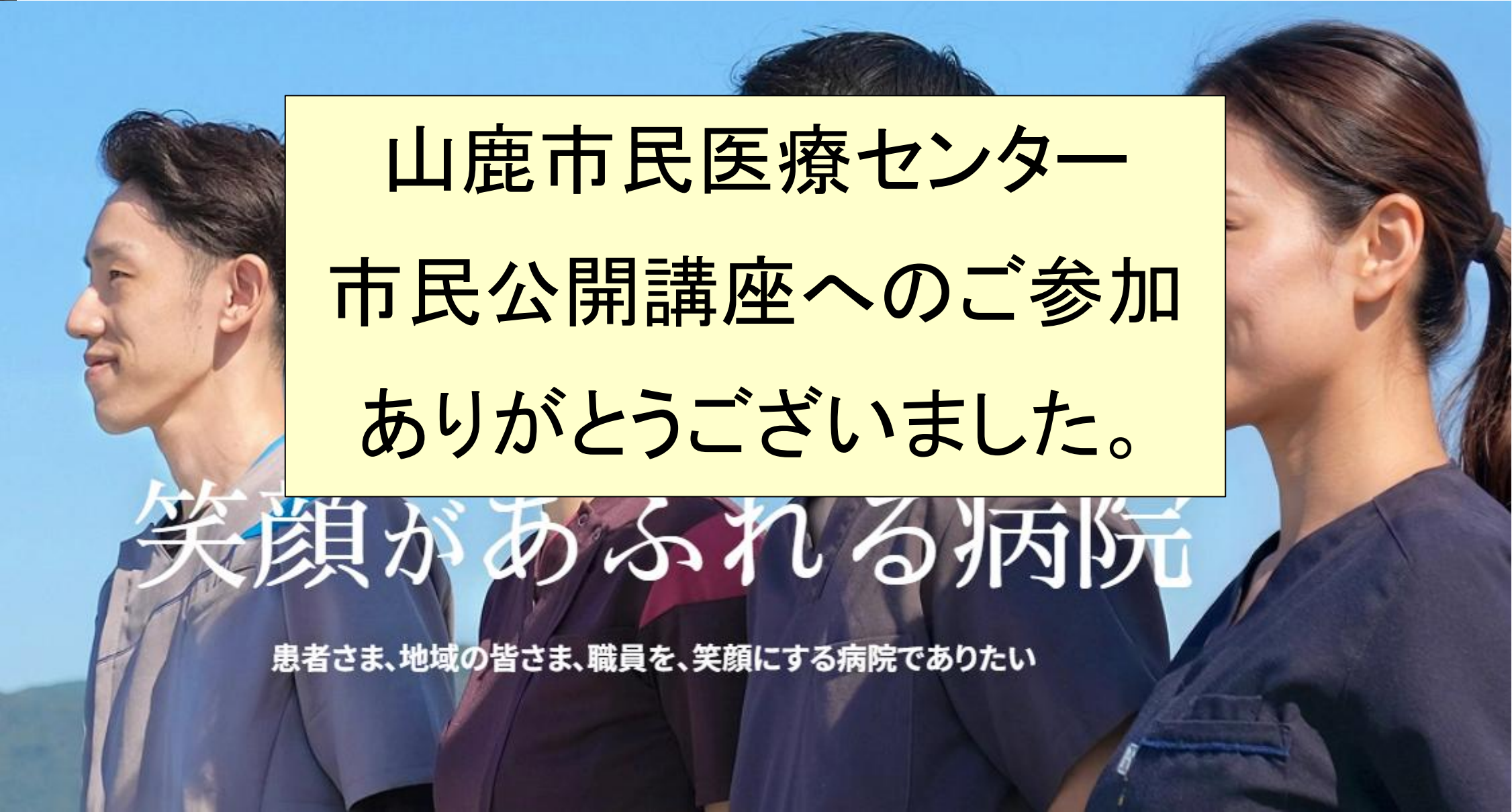
国立がん研究センター中央病院

総合内科 科長 大橋 健 先生



地域住民の生命と健康への貢献

山鹿市民医療センター



山鹿市民医療センター
市民公開講座へのご参加
ありがとうございました。

笑顔があふれる病院

患者さま、地域の皆さま、職員を、笑顔にする病院でありたい